

目 次

第1章 まちづくり協議会とは

- ①まちづくり協議会とは…………… 1
- ②まちづくり計画書とは…………… 1
- ③人と地域が輝く常盤協議会運営組織…………… 2

第2章 常盤学区のまちづくり

- ①常盤学区の現状と課題…………… 3
- ②基本理念…………… 3
- ③スローガン…………… 3

第3章 まちづくり実施計画

- ①まちづくりの基本目標…………… 4
- ②目標に対する取り組み内容…………… 5
- ③今後の展開…………… 12
- ④常盤協議会とまちづくりの経緯…………… 12

その他

- 常盤協議会の主な活動…………… 13

表 紙：人と地域が輝く常盤協議会シンボルマーク（平成25年2月制定）

制 作 者：今井 弘美さん（大阪市在住）

製作意図：「人と地域が輝く常盤協議会」の頭文字の漢字の「常」をモチーフに、町内会をはじめさまざまな団体や地域活動を展開する人々のハツラツとした笑顔で、「人と地域が輝く常盤協議会」を表現しました。

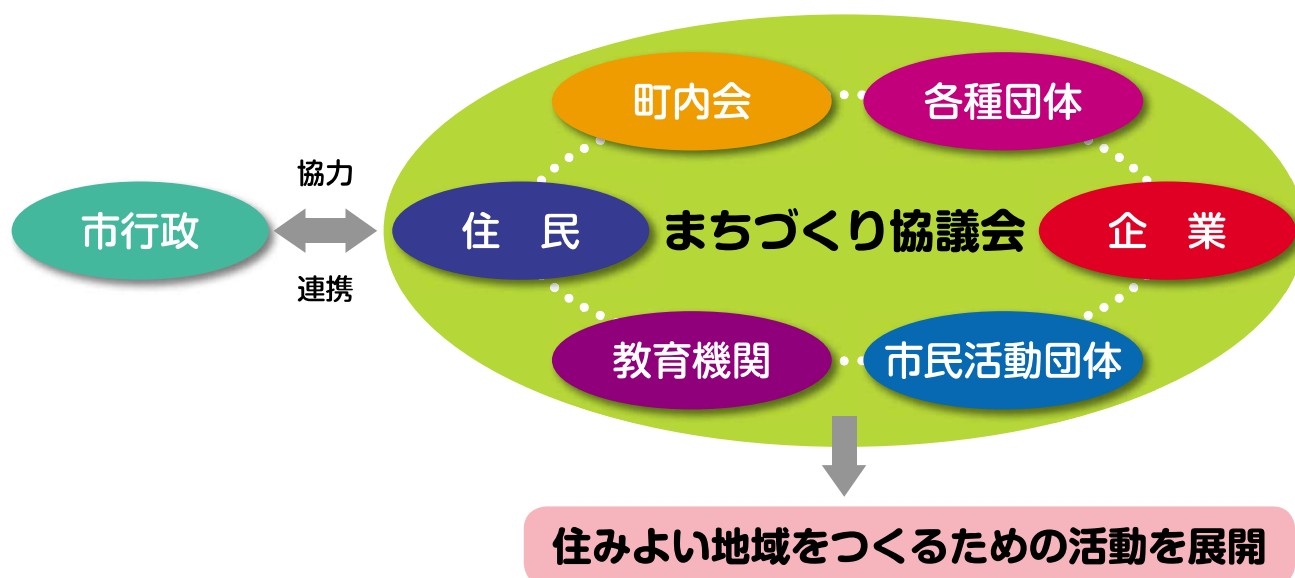
第1章 まちづくり協議会とは

①まちづくり協議会とは

まちづくり協議会は、概ね小学校区を区域として、地域が主体になって地域の問題解決やまちづくりを行うために、町内会や各種団体などのコミュニティ組織を中心に、地域に住む人や団体など、みんなで作られた地域を代表する組織です。住みよい地域をつくるために市と協力、連携して地域のまちづくりを行う役割を担っています。

常盤のまちづくり協議会は平成24年1月28日に『人と地域が輝く常盤協議会』が設立されました。この協議会は、地域住民が主体となり、人々がいつまでも住み続けたいと願う「ふるさと常盤」をめざし、地域の豊かな自然や貴重な文化財を大切にしながら、愛着と誇りの持てるまちづくりを推進することを目的としています。

(まちづくり協議会のイメージ)

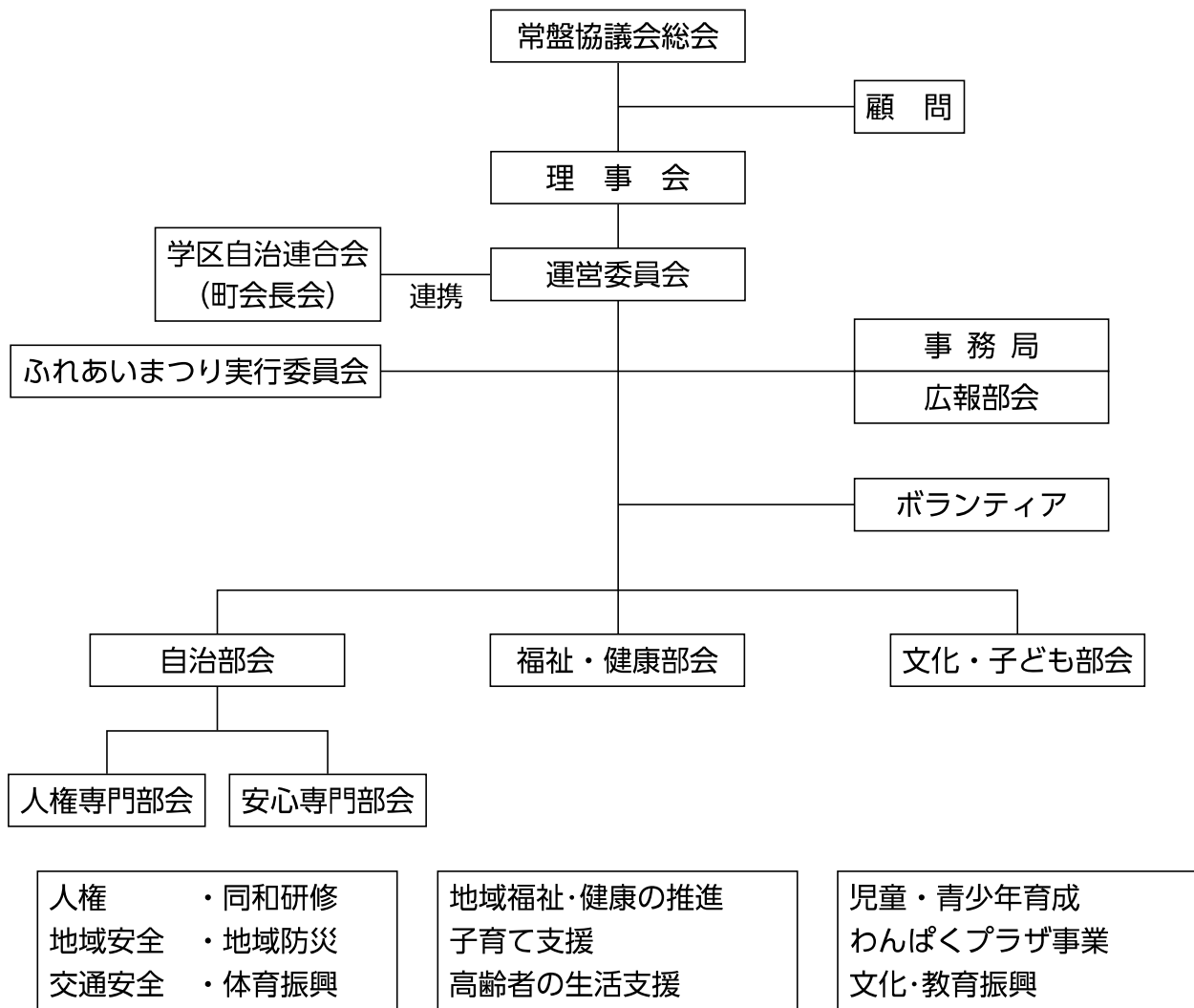


②まちづくり計画書とは

この協議会活動の基本になる考え方は、「自分たちの地域は自分たちで作り、まもる」ということです。常盤学区独自の課題には、自らが考え行動していく継続的な取り組みが求められます。そこで、平成24年度に「まちづくり計画策定委員会」を設置し、私たちの「ふるさと常盤」を見つめ直し、もっと住みよい地域とするために、常盤の将来像を創造し、その将来像を実現していくための手立てや方法を地域住民自らが考え描く「まちづくり計画」を策定いたしました。

令和6年には計画策定後5年を経過したことから、その計画内容について見直し、評価を行い、現状に即した計画書に今回、見直し改訂致しました。

③人と地域が輝く常盤協議会運営組織



(常盤協議会を構成する地域・各種団体)

片岡町 津田江町 下寺町
 下物町 芦浦町 芦浦町東
 長束町 上寺町 穴村町
 北大萱町 吉田町 志那町
 志那中町 常盤団地
 ホープタウン芦浦

草津北部まちづくり協議会
 体育振興会
 同和教育推進協議会
 NPO法人ハート&ライト
 部落解放同盟芦浦支部
 人権擁護委員
 消防団第6分団
 草津栗東交通安全協会常盤支部

社会福祉協議会
 民生委員児童委員協議会

更生保護女性会
 日赤奉仕団
 健康推進員
 身体障害者更生会
 遺族会
 子育てサロンひまわり
 保護司
 社会福祉法人寿会
 ときわおにぎりプロジェクト

青少年育成会議

ジュニアリーダー
 少年補導委員

常盤小学校PTA

(読書グループ松葉会)
 (新堂中学校) (常盤小学校)
 (常盤こども園) (第四保育所)
 (草津大谷保育園)
 (常盤東総合センター)

第2章 常盤学区のまちづくり

①常盤学区の現状と課題

私たちの住まいる常盤学区は、古い歴史の中、水と緑に囲まれた豊かな自然環境のもと、旧来、農業を主とした地域産業でその生計を立ててきた農村地域でありました。しかし、昭和戦後の高度経済成長のなかにおいて、人々のライフスタイルが大きく変わってきました。人々は、市街地へ働きに出るようになり、生計の主体も農業から離れていきました。そのことは常盤学区においても例外なく、共働きや核家族化が増加し、少子高齢化が進んでいます。常盤学区のまちづくりを考えると、こういったライフスタイルの変化と地域の特性、取り分け、市街化調整区域が100%という環境下であって、人口は減少をたどり、高齢化率が進み、生活基盤となる医療、福祉、商業施設が衰退していったという現状を理解することが必要と考えます。

こうした中、高齢者をはじめ、子育て年代や、地域で生活するすべての人々が、安心、快適、便利に暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを目指し、次の視点から常盤学区の課題を整理したいと思います。

1. 生活利便施設の充足

- ・生活基盤となる、大型商業施設の誘致、医療福祉施設の整備や、子育てのしやすい 幼児保育や子育て環境の整備。
- ・地域住民の活動及び交流施設として、常盤まちづくりセンターの活用。

2. 公共交通の利便性の確保

- ・通勤、通学、買い物等が安全、快適に利用できる公共交通アクセスの整備。

3. 豊富な地域資源を活用した地域の活性化。

- ・烏丸半島や湖辺地域のかげがえのない環境を活用した観光資源の活性化。
- ・豊富な史跡、文化遺産を大切に守りながら、地域の活性化を図る。

4. 地場産業の農業や漁業の活性化

- ・市街化調整区域における、農業・漁業を活かした地域の活性化施策。

5. 安心安全の地域活動や、世代間交流の在り方の工夫改善

- ・安心安全の基本となる地域つきあいを、今の生活スタイルに見合った形で、地域役員や世代間交流の在り方について、工夫改善を行う。

②基本理念

水と緑豊かな自然や歴史、貴重な文化財、老いも若きも「わ」（和・話・輪）のつながりを大切にしながら、愛着と誇りを持つことができる文化豊かな「ふるさと常盤」を創ろう。

～みんながいきいきと安心して暮らせる常盤をめざして～

③スローガン

この計画を達成するため、みんなの合言葉として、次のスローガンを掲げました。

『大好きなんや！みんなで創ろう常盤の未来』

第3章 まちづくり実施計画

①まちづくりの基本目標

「ふるさと常盤」の基本理念を実現するため、取り組むべき内容について、初版策定時に皆さんからのアンケート等の意見をもとに、次の7つの基本目標にまとめました。

1. 安心して楽しく暮らせる ふるさと常盤
2. 豊かな自然とみどりを大切に育む ふるさと常盤
3. 先人の築いた歴史と文化を大切にする ふるさと常盤
4. 人を大切に育む ふるさと常盤
5. 子どもが元気に、高齢者が生き生きと暮らせる ふるさと常盤
6. 地域の活力を活かした ふるさと常盤
7. 人と地域のふれあいを大切にする ふるさと常盤

(まちづくり基本目標に対する取り組み方について)

- 世代交替の著しい協議会を構成する関係者にあって、その基本目標を共有理解し運営に当たれるよう、事例説明を加えました。
- 基本目標について、それぞれ主管する担当部会を明記しました。
- 現状の取組事業例と実施母体を明記しました。
- PDCA（計画・実行・評価・改善）の考え方にに基づき、定期的に評価し、継続、発展していくことを目指しました。（担当&評価欄）
- 新たに求められる事業があれば、計画書の項目にしばられることなく柔軟に対応し、発展させていくことは重要なことです。

②目標に対する取り組み内容

基本目標 1 安心して楽しく暮らせる ふるさと常盤

私たちは、日々安心して楽しく暮らせる生活を願っています。日常生活の基本となる社会は、町内や学区といった住み慣れた生活圏です。常盤学区は、台風や地震等の自然災害の影響も少なく、また、凶悪な犯罪の発生も比較的少ない地域です。

今後も、子どもから高齢者まで、だれもが災害や犯罪の少ない常盤で、安心して暮らせるための取り組みを進めます。

施策実施方針	取り組み内容	取組事業名	担当部会	評価	実施団体
1. 交通事故のないふるさと常盤を創ります。	①交通安全協会等と協働し、学区民の交通安全講習会に取り組みます。	交通安全マナーアップ講習会	安心専門		交通安全協会常盤支部
	②小学校、こども園、保育所等と連携し、子どもの交通安全教室に取り組みます。	安全教室	安心専門		交通安全協会常盤支部 小学校、こども園、保育所
	③交通ルールを守り、いのちを大切にす啓発活動に取り組みます。	街頭啓発	安心専門		交通安全協会常盤支部
	④道路の状況や交通標識などの点検を実施します。	道路施設等点検	安心専門		各町内会 交通安全協会常盤支部
2. 地域の防犯・防災活動を推進し、安心して暮らせるふるさと常盤を創ります。	①防災マップや青少年のパトロール場所等のマップづくりに取り組みます。	常盤学区防災マップ 常盤学区危険箇所マップ	安心専門		各町内会、学区青少年育成会議、少年補導委員 草津市消防団第6分団
	②消防署や分団等と協働し、防災訓練や避難訓練を行い、防災意識の高揚に取り組みます。	防災（避難）訓練、 防災講演 地域防災計画	安心専門		各町内会 草津市消防団第6分団
	③駐在所等関係機関と協働し、地域の声かけ運動やパトロール等を通して、安全なまちづくりに取り組みます。	常盤学区パトロール 常盤学区防犯パトロール	安心専門		少年補導委員 学区青少年育成会議 交通安全協会常盤支部
	④防犯意識を高め、犯罪のないまちづくりに取り組みます。	防犯教室	安心専門		草津警察署常盤駐在所
3. 災害時の要援護者の安心・安全なふるさと常盤を創ります。	①町会長や民生委員等と連携し、災害時の援体制づくりに取り組みます。	地域防災計画 災害時地域援護計画	安心専門 福祉・健康		各町内会（自治連） 民生委員児童委員協議会 社会福祉協議会

基本目標2 豊かな自然とみどりを大切に育む ふるさと常盤

常盤学区は、自然環境に恵まれ、琵琶湖の湖辺は四季折々に表情を変える風光明媚なところです。また、圃場整備によって育まれた田園では、青々とした早苗や黄金色に輝いた稲穂などが目にも鮮やかです。

今後も、豊かな自然を守りつつ、ごみの不法投棄や景観が損なわれることがないよう、私たち一人ひとりが自然に対する関心を持ち、育むための取り組みを進めます。

施策実施方針	取り組み内容	取組事業名	担当部会	評価	実施団体
1. ごみのないきれいなふるさと常盤を創ります。	①一斉清掃や不法投棄防止活動の実施、啓発ステッカーの配布等、まちの美化活動に取り組みます。	地域一斉清掃 不法投棄啓発看板	安心専門		各町内会（自治連）
	②学区内を巡回し、ポイ捨て防止活動等に取り組みます。	常盤学区パトロール 不法投棄啓発看板	安心専門		各町内会（自治連）
	③広報など、まちの美化活動の啓発に取り組みます。	広報とさわ、ホームページ 各種ビラ	広報		事務局（広報部会）
2. 自然を守り、育てるふるさと常盤を創ります。	①学区内のすばらしい自然景観を維持する活動に取り組みます。	常盤学区パトロール 地域美化活動	自治		各町内会（自治連）
	②四季折々に花が咲くポケットパーク等の整備など、心和む地域づくりに取り組みます。	ポケットパークの植栽 花苗の頒布 園芸教室	自治		各町内会（自治連） 草津北部まちづくり協議会
	③スイセン、サクラ、フジ、ハスなど、常盤に咲く花や自然景観のすばらしさを内外に発信する啓発活動に取り組みます。	学区ガイドマップ ホームページ	自治 広報		事務局（広報部会）
	④地域の自然と人間の生活等の学びの場づくりに取り組みます。	常盤学区ふるさと探検 講演会	文化・子ども		小PTA他

基本目標3 先人の築いた歴史と文化を大切にふるさと常盤

常盤学区は、古くから伝えられてきた伝統芸能や、神社仏閣をはじめとする歴史遺産が数多く存在します。これらを守り受け継いでいくのは、私たちの使命です。

今後も、今日まで引き継がれてきた土壌を大切にしながら、伝統芸能や歴史遺産を絶やさず、また、新たな文化を創造する取り組みを進めます。

施策実施方針	取り組み内容	取組事業名	担当部会	評価	実施団体
1. 先人の築いた歴史と文化を継承し、発展させるふるさと常盤を創ります。	<p>①地域の史跡や文化財をまとめた歴史マップを作成して、広く市民や観光客に提供する事業に取り組みます。</p> <p>②フィールドワークを実施し、地域にある歴史や文化財、伝統芸能の素晴らしさを体感する事業に取り組みます。</p> <p>③常盤の身近な民話や住民の思い・願いを後世に伝え、ふるさとの誇りづくり活動に取り組みます。</p> <p>④身近な民話を紙芝居や冊子にして、ふるさと意識の啓発活動に取り組みます。</p> <p>⑤長東正家、山崎宗鑑、慈音尼等、常盤の偉人について後世に伝える活動に取り組みます。</p> <p>⑥常盤の歴史と文化を学ぶための機会を設け、後世に継承していくための人材を育成する事業に取り組みます。</p>	<p>ときわ歴史ふれあいマップ マップ揭示板 マップクリアファイル</p> <p>学区史跡ハイキング 史跡巡回バス運行 文化講演会</p> <p>常盤の民話集 ときわの味 DVDで常盤地域文化の紹介</p> <p>民話集ふるさとのかおり 民話の紙芝居公演</p> <p>常盤の偉人の紙芝居 小学校の副読本</p> <p>常盤学区の文化講演会 観光ボランティアの育成</p>	文化・子ども		事務局 草津市観光物産協会
			文化・子ども		事務局 草津市観光物産協会 各町内会（自治連）
			文化・子ども		松葉会 常盤小学校、こども園、 保育園、保育所
			文化・子ども		松葉会
			文化・子ども		松葉会 常盤小学校
			文化・子ども		事務局 草津市観光物産協会

基本目標4 人を大切に育む ふるさと常盤

子どもは地域の宝物です。常盤学区を支える原動力です。人や地域を大切にすることを怠るべきではありません。そのためには、人権を尊重したおとなの生き方が大切です。子どもたちに、先人が伝えてきた常盤の誇りやよさを伝えていく必要があります。今後も、人権が尊ばれる教育を基礎として、だれもがいつまでも住み続けたいと思う気持ちを育む取り組みを進めます。

施策実施方針	取り組み内容	取組事業名	担当部会	評価	実施団体
1. 子どもたちが安全で安心して暮らせるふるさと常盤を創ります。	①登下校時の「見守り隊」活動に取り組みます。	スクールガード	文化・子ども		小PTA、各町内会
	②声かけ運動（あいさつ運動）に取り組みます。	あいさつ運動	文化・子ども		民生委員児童委員協議会 青少年育成会議、小PTA
	③地域で拠点を設け、子育ての情報交換ができる場づくりに取り組みます。	子育てサロン	文化・子ども 福祉・健康		子育てサロンひまわり事務局
2. 子どもたちの交流と体験活動を通して、互いの人権を尊重し信頼し合える仲間づくりを進めるふるさと常盤を創ります。	①キャンプ等の体験活動を通じて、互いの人権を尊重し合える仲間づくりに取り組みます。	わんぱくプラザ	文化・子ども		小PTA ジュニアリーダー
	②体力の向上と協調性を培い、スポーツ活動を通じて信頼し合える仲間づくりに取り組みます。	わんぱくプラザ 子どもクラブ	文化・子ども		事務局（子ども部会） 更生保護女性会
	③各団体と協働して子どもを支援する活動に取り組みます。	子どもクラブのびっこ みどりのはらぺっこ食堂	福祉・健康 文化・子ども		更生保護女性会 社会福祉協議会 健康推進員、日赤奉仕団
3. 人権について学び、互いを尊重し、人を大切にするふるさと常盤を創ります。	①同和問題をはじめあらゆる人権問題の教育・啓発に取り組み、一人ひとりがふるさと常盤に住んでよかったと思えるまちづくりに取り組みます。	町内学習懇談会推進者 研修講座 町内学習懇談会 人権学習会（現地研修）	人権専門		同和教育推進協議会 各町内会（自治連） 小学校、中学校、こども園、保育園、保育所他
	②常盤学区はいじめや虐待、身元調査等、あらゆる人権侵害を許さないまちであること、様々な形で啓発活動に取り組みます。	人権啓発看板 啓発ビラ・ポスター ステッカー	人権専門		同和教育推進協議会

基本目標5 子どもが元気に、高齢者が生き活きと暮らせる ふるさと常盤

少子高齢化が進む常盤学区ですが、身近なところに高齢者が利用できる商業施設・医療機関は極めて少ない状況です。今後も、高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるための取り組みを進めます。

また、戸外で子どもがのびのびと元気に遊ぶ姿も少なくなってきました。子どもが地域の自然の中で元気に遊ぶ場づくりや、乳幼児と保護者同士が交流する場づくりの取り組みを進めます。

施策実施方針	取り組み内容	取組事業名	担当部会	評価	実施団体
1. 高齢者が生き活きと暮らせ、高齢者にやさしいふるさと常盤を創ります。	①買い物や通院等、常盤学区の高齢者にとつて不便である課題の解消に取り組みます。 ②増える一人暮らし高齢者の孤立化防止に、手づくり弁当の配布や、せいせんフラワープレゼントなどを通して、高齢者への声かけ運動に取り組みます。 ③ほのぼのサークル活動を通じて、高齢者の交流の場づくり・健康づくりに取り組みます。	地域活性化事業 医療福祉を考える会 一人暮らし高齢者事業 ふれあい喫茶(居場所づくり)	福祉・健康 福祉・健康		活性化プロジェクト 社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会 社会福祉協議会 健康推進員、常盤小学校 まちづくりセンター
2. 子どもがのびのび育つ元気なふるさと常盤を創ります。	①乳幼児・未就園児と保護者同士が、子育ての情報や悩みの解消を図るための交流の場として、子育てサロンの充実に取り組みます。 ②地域の一員としての仲間意識を育てるため、子どもたちが交流する場づくりを進め、子どもがのびのびと元気に育ち合う仲間づくりに取り組みます。	子育てサロン わんぱくプラザ みどりのほらぺっこ食堂 子どもクラブ	福祉・健康 福祉・健康 文化・子ども		子育てサロンひまわり 社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会 文化・子ども部会 社会福祉協議会 健康推進員 更生保護女性会

基本目標6 地域の活力を活かした ふるさと常盤

常盤学区は、少子高齢化の影響で人口が減少しており、そのうえ、高等教育を終えると、市外県外へと転出されるケースが目立っています。また、公共交通の整備が不十分で、日常の移動手段は自家用車に頼らざるを得ない現状です。

今後も、地域の担い手である若い人が学区内に定着することをめざし、主産業である農業や漁業など、地域の特長を活かした産業の活性化への支援や、学区の公共交通の不便さを補い、快適に生活できるための取り組みを進めます

施策実施方針	取り組み内容	取組事業名	担当部会	評価	実施団体
1. 農業や漁業産業を活性化し、活力あるふるさと常盤を創ります。	<ul style="list-style-type: none"> ①琵琶湖漁業の持続発展のため、在来魚の養殖事業の研究支援に取り組みます。 ②農産物の付加価値を高めるため、新作物の栽培、加工施設の研究支援に取り組みます。 ③地元特産品のブランド化や、地産地消活動の推進に取り組みます。 ④農業や漁業産業の活性化につなげるため、広く若者の担い手発掘に取り組みます。 	地域農業活性化事業 研修講座 視察研修 地域農業活性化事業 研修講座 視察研修 地域農業活性化事業 研修講座 視察研修 地域農業活性化事業 研修講座 視察研修	自治		
2. 公共交通や、医療、商業、福祉施設の整備されたふるさと常盤を創ります。	<ul style="list-style-type: none"> ①学区内を走っているまめバス等、地域のニーズに対応した生活交通の整備に取り組みます。 ②商業施設や医療・福祉機関などの生活サービス施設の整備に取り組みます。 	活性化プロジェクト ラウンドテーブル 活性化プロジェクト ラウンドテーブル	自治 福祉・健康		自治連合会 草津北部まちづくり協議会
3. 豊かな自然と数多く残る歴史資産を活用し、魅力あるふるさと常盤を創ります。	<ul style="list-style-type: none"> ①湖辺地域のロケーションを活かし、地域振興に資する観光拠点の形成に取り組みます。 ②先人の残された、貴重な歴史資産の保存と活用に取り組みます。 	活性化プロジェクト ラウンドテーブル 活性化プロジェクト ラウンドテーブル	自治 文化・子ども		自治連合会 草津北部まちづくり協議会

基本目標7 人と地域のふれあいを大切にふるさと常盤

昨今は、人や地域の交わりが希薄化した社会になっていますが、常盤学区は、人と人との絆が大切にされ、地域と地域とのふれあいが深い地域です。この繋がりの良さを生かした地域づくりをしていくことを大切にしなければなりません。

今後も、自主的に地域づくりに参加し、人と人との心が通い合う、支援やボランティア活動が広がるような取り組みを進めます

施策実施方針	取り組み内容	取組事業名	担当部会	評価	実施団体
1. 地域のみんながふれあい、交流できる地域コミュニティの充実したふるさと常盤を創ります。	<p>①学区ふれあいまつりの充実を図り、学区区民相互の交流を深めることにより、地域への帰属意識の高揚に取り組みます。</p> <p>②学区民にたいするスポーツ活動を通して、学区区民相互の交流を図るとともに健康増進に取り組みます。</p> <p>③協議会をはじめとする各種団体の活動情報を発信し、共有することにより学区区民の相互理解の促進に取り組みます。</p>	<p>常盤学区区民ふれあいまつり</p> <p>学区スポーツフェスティバル 他、各種学区スポーツ大会</p> <p>広報ときわ ミニときわ ホームページ ビラ案内</p>	<p>自治 福祉・健康 文化・子ども</p> <p>自治</p> <p>広報</p>		<p>ふれあいまつり実行委員会 (常盤協議会構成団体)</p> <p>体育振興会 自治連合会</p> <p>事務局 (広報部会)</p>
2. 地域内の一人ひとりが、自分ができることで地域に参加できるふるさと常盤を創ります。	<p>①地域の情報を広く発信・提供し、自主的な活動参加を呼びかけ、地域づくりへの支援者が増えるよう取り組みます。</p> <p>②地域活動や講座等の学習活動を通して、地域リーダーの育成に取り組みます。</p> <p>③地域活動への参加をばばんでいる問題点や課題を明らかにし、一人ひとりが参加しやすい仕組み作りに取り組みます。</p>	<p>広報ときわ ミニときわ ホームページ ビラ案内</p> <p>地域奉仕活動 リーダー養成講座</p> <p>アンケート 各団体組織の会合協議</p>	<p>自治 福祉・健康 文化・子ども</p> <p>自治 文化・子ども</p> <p>自治 福祉・健康 文化・子ども</p>		<p>自治連 (各町内会) 体育振興会 社会福祉協議会</p> <p>自治連 (各町内会) 事務局</p> <p>自治連 (各町内会) 体育振興会 社会福祉協議会</p>

③今後の展開

これからの常盤学区における協働のまちづくりの推進は、私たち常盤学区民が、今日までの学区の魅力と課題の共通理解を図りつつ、「自分たちの地域は自分たちでつくり、まもる」という自立した考え方のもとに、参加から協働のまちづくりへと、自らが主体性を持って、自ら考え行動する実践者にならなければなりません。

そのためには、学区民の皆さんから今までにいただいたアンケート結果や意見等を参考にしながら、町内会や各種団体をはじめ行政と連携を図り、協働のまちづくりをめざして、様々な事業に取り組んでいくことが大切です。

『人と地域が輝く常盤協議会』がめざすのは、「参加から協働のまちづくり」です。私たちは、このことを認識し、まちづくり計画書に描かれた基本目標の取り組みをできるところから着実に実践しなければなりません。また、それらの日々の取り組みの中で、計画書に描かれていない新たに求められる事業等があれば、計画書にしばられることなく柔軟に対処していくことも重要です。

いずれにしても、協働のまちづくりの推進のためには、常盤学区の皆さんの普段からの協力と積極的な参加がより一層求められてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

④常盤協議会とまちづくりの経緯

年 月	内 容	会 長
H23.4	「協働のまちづくり」について自治連合会にて協議、検討・研修	
H23.6	協議会設立検討準備会設置	
H23.8	設立準備会総会	
H23.11	設立準備会全体会議	
H24.1.28	『人と地域が輝く常盤協議会』設立	今井 幸男
H24.4	H24年度総会開催	〃
H24.6～	「人と地域が輝く常盤協議会まちづくり計画策定委員会」発足	〃
H25.4	H25年度総会開催「まちづくり計画書」承認	〃
H26.4.	H26年度総会開催	西村 博次
H26.8.11	『人と地域が輝く常盤協議会』が市より認定される	〃
H27.4	H27年度総会開催	〃
H28.4	H28年度総会開催	島林 一郎
H29.4	H29年度総会開催	〃
H29.6	「常盤学区活性化プロジェクト検討委員会」を立ち上げる	〃
H30.1	草津市へ33項目のプロジェクト提案を提出	〃
H30.4	常盤まちづくりセンターが改築（常盤協議会が指定管理）	安井 正一
	H30年度総会開催	〃
	まちづくり計画書の見直し開始	〃
H31.4	H31年度総会開催	〃
	・・・以降、毎年4月に総会開催	

常盤協議会の主な活動



学区内の不法投棄防止パトロール



防災倉庫で防災器具使用訓練



学区民ふれあいまつりのイベント



学区民運動会



人権講座研修会



市長とまちづくりトーク

常盤協議会の主な活動



学区内の史跡を訪ねてふるさと探検



地域協働合校で魚の観察会



独居高齢者に給食



ふれあいグラウンドゴルフ



烏丸半島でヨシ松明まつり



青少年の非行防止の夜間パトロール

人と地域が輝く常盤協議会
まちづくり計画書（改訂版）

令和7年4月発行

発 行 人と地域が輝く常盤協議会

連 絡 先 常盤まちづくりセンター

草津市志那中町111-1

TEL・FAX 568-0001

Eメール：tokiwa@machikyou.jp

印 刷 株式会社スマイ印刷